

平成25年度 学校評価アンケート

武豊町立富貴小学校

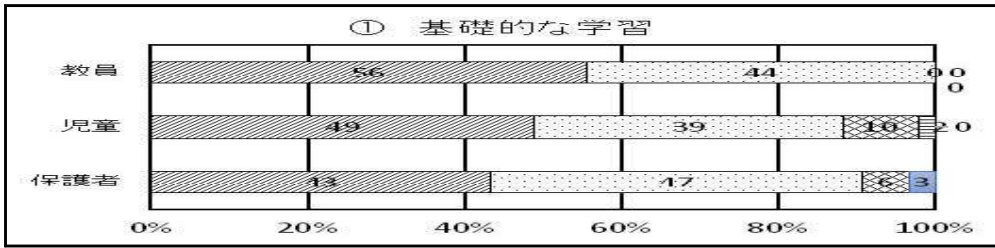
平成25年12月に学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果をお知らせします。本アンケートの結果は学校関係者評価委員会においても協議を行いました。今後の富貴小学校の教育活動を進めていく上で、参考にさせていただきます。

<アンケートの質問内容>

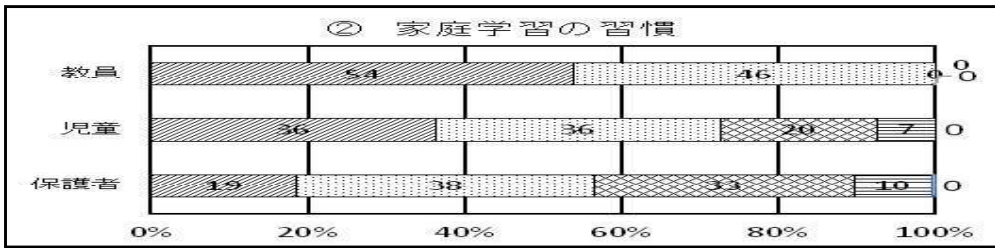
| | |
|--------------|--|
| ①基礎的な学習 | 【児低】かんじ大会やけいさん大会で、たくさんべんきょうした。 【児中高】じゅぎょう中、2人の先生が教えてくれたりかんじ大会や計算大会があったりして、勉強がわかりやすい。 【保護者】学校は、授業中のプリント・ドリル・個別指導・複数の教師による指導や、漢字・計算大会などを通じて、各教科の 基礎的な学習 を大切にしている。 【教員】授業中のプリント・ドリル・個別指導・複数の教師による指導や、漢字・計算大会などを通じて、各教科の 基礎的な学習 を大切にしている。 |
| ②家庭学習の習慣 | 【児低】しゅくだいはすすんでやった。 【児中高】しゅくだいを自主勉強を自分からすすんでできる。 【児高】宿題や自主勉強を自分から進んで取り組むことができる。 【保護者】お子さんは、自分から 家庭学習 に取り組む習慣が身に付いている。 【教員】 家庭学習の習慣 が身に付くように計画的に課題（宿題）を出している。 |
| ③思いやりの心 | 【児低中】ともだちがこまっているとき、はげましたりたすけたりした。 【児高】困っている人がいたら、声をかけたり助けたりできた。 【保護者】学校は、道徳の授業やたてわり活動、児童会活動（各種募金やペットボトルのキャップ集め）などを通して、 思いやりの心 を育てるように取り組んでいる。 【教員】道徳の授業や、たてわり活動、児童会活動（各種募金やペットボトルのキャップ集め）などを通して、 思いやりの心 を育てるように取り組んでいる。 |
| ④基本的な生活習慣 | 【児童】進んであいさつができる。 【保護者】お子さんは進んで あいさつ ができる。 【教員】子どもが進んで あいさつ ができるように指導している。 |
| ⑤体力づくりや食育の充実 | 【児低】なわとびやマラソンやそとあそびなどで、からだをうごかすことができた。 【児中高】なわとび運動・マラソン運動・外遊びなどで、体を動かすことができた。 【保護者】学校は、なわとび運動・マラソン運動や、学校保健委員会・すごやがカードなどを通して、 体力づくりや食育の充実 に取り組んでいる。 【教員】なわとび運動・マラソン運動や、学校保健委員会・すごやがカードなどを通して、 体力づくりや食育の充実 に取り組んでいる。 |
| ⑥家庭と協力 | 【児童】家の人は、連絡帳やお頼りをよく読んでいる。 【保護者】学校は、家庭訪問や個人懇談会、電話、連絡帳を通して、 家庭と協力 しながら児童の指導にあたっている。 【教員】家庭訪問や個人懇談会、電話、連絡帳を通して、 家庭と協力 しながら児童の指導にあたっている。 |
| ⑦分かりやすい授業 | 【児童】先生の授業は、わかりやすい。 【保護者】学校は、授業の進め方などを工夫して、 わかりやすい授業 を行うよう努めている。 【教員】授業の進め方などを工夫して、 わかりやすい授業 を行うよう努めている。 |
| ⑧情報モラル教育 | 【児低】先生はコンピュータやインターネットのルールやマナーをおしえてくれる。 【児中高】先生はインターネットのルールやマナーを教えてくれる。 【保護者】学校は、インターネットのルールやマナーなど、 情報モラル教育 に積極的に取り組んでいる。 【教員】インターネットのルールやマナーなど、 情報モラル教育 に積極的に取り組んでいる。 |
| ⑨学校が楽しい | 【児童】わたしは学校へ行くのが楽しみだ。 【保護者】お子さんは、学校へ行くのを 楽しみ にしている。 【教員】子どもたちは、学校へ来るのを 楽しみ にしている。 |

| | | | |
|------|-----|-------------|-------------|
| <回答> | 児童 | 474人 / 486人 | (回答率 97.5%) |
| | 保護者 | 466人 / 486人 | (回答率 95.9%) |
| | 教員 | 28人 / 28人 | (回答率 100%) |

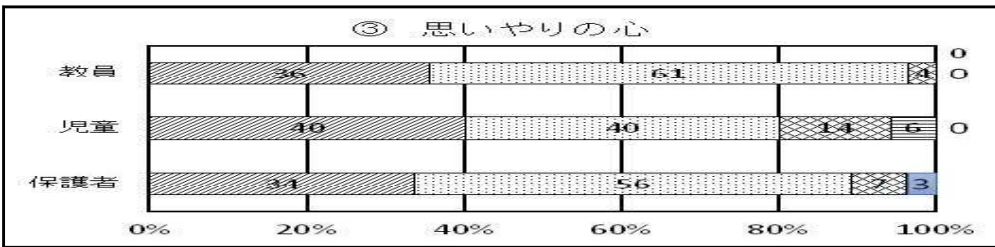
| | | |
|------|------------------|----------------|
| 【凡例】 | よくあてはまる | どちらかというとはあてはまる |
| | どちらかというとはあてはまらない | まったくあてはまらない |
| | わからないので回答できない | |



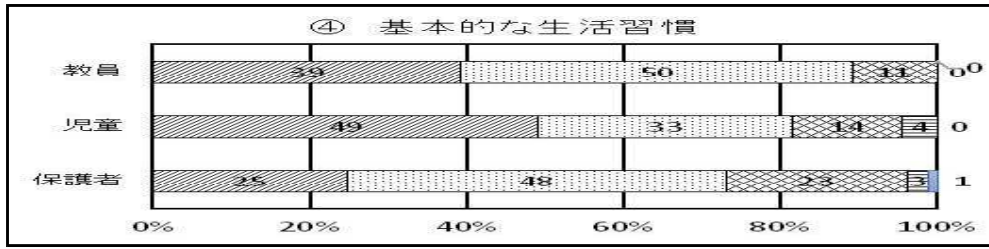
| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|--|--|---|
| 基礎的な学習が進められていることを、保護者の多くの方に肯定的に評価していただいています。教員も、教材研究や指導法について日々研鑽を重ねています。 | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な方策に取り組み、保護者に理解してもらう。 学力の定着だけでなく、知識の習得までの過程も大切である。 | → 今後も、個を重視し、児童が分かる授業を目指して、授業づくりをしていきます。 |



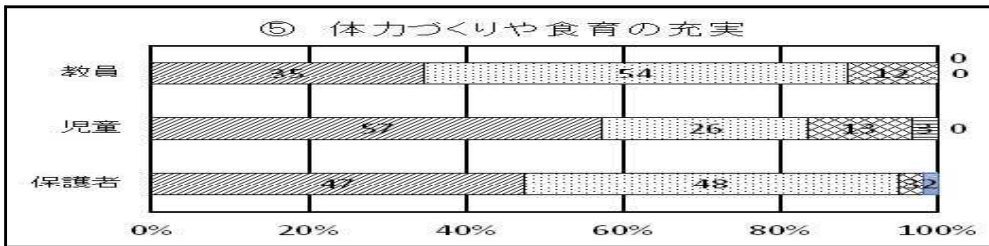
| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|---|--|--|
| 教員は、課題を与え、提出させることで家庭の学習ができていると捉えています。児童と保護者の評価から、家庭で決まった時間学習をする習慣はあまり身につけていないと考えられます。 | <ul style="list-style-type: none"> 富貴小だけでなく、町内のどの学校でも問題となっている。 実態を把握して、どこに問題があるのかを検討する必要があります。 | → 課題を与えるだけでなく、手引き等で各学年に応じて、家庭でどのような学習を進めたらよいかを伝えていきます。 |



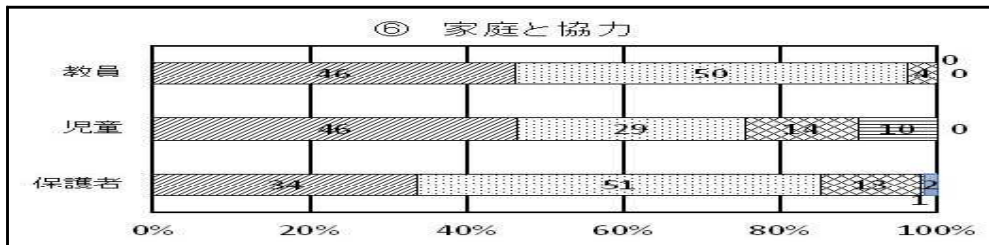
| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|---|--|---|
| 約9割の保護者から肯定的な評価をいただいています。たてわり活動などを通して、思いやりの心が育っているという結果とされます。 | <ul style="list-style-type: none"> 異学年が遊ぶことで、いろいろなことを学ぶことができる。 たてわり活動で、助け合いを経験するべきである。 | → 今後も、人に優しくできる人づくりのために、思いやりの心を育てる活動を継続していきます。 |



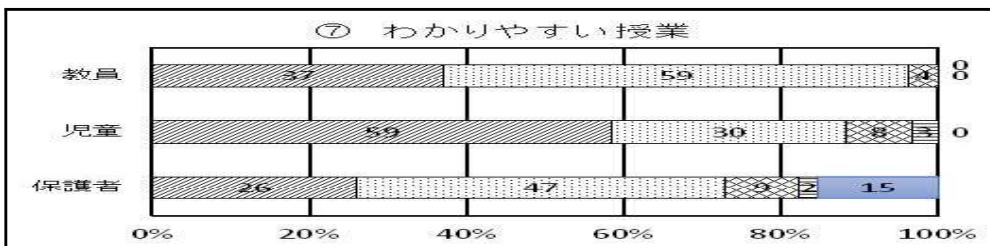
| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|--|--|--|
| 三者ともあいさつについて、まだまだという評価です。あいさつができる児童が少しずつ増えています。学校全体までは達していません。 | <ul style="list-style-type: none"> 形だけでなく、どういう気持ちであいさつするかが重要である。 あいさつに続く言葉が省かれている気がする。 | → 児童の自主的なあいさつ運動を進めています。周りの大人が率先して行うことも必要と考えます。 |



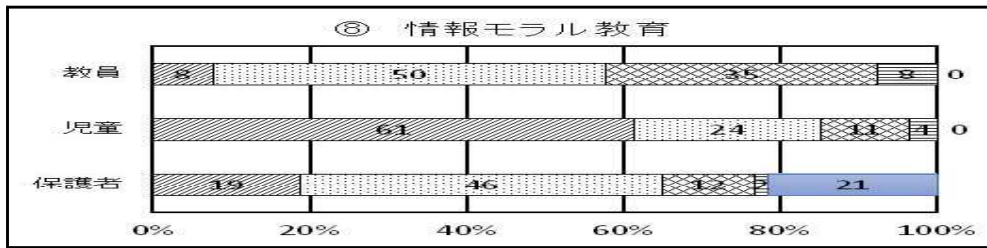
| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|---|---|---|
| 9割以上の保護者から肯定的な評価をいただいています。なわとび運動やマラソン運動、すこやかカードの実施など、児童の健康面での充実を図っています。 | <ul style="list-style-type: none"> 一日の始まりと考えると、朝食は大切である。 健康管理は、学校だけではない。また、本人だけでなく親の意識も重要である。 | → 今後も、児童の健康管理には重点的に注意を払い、様々な面から充実させていきます。 |



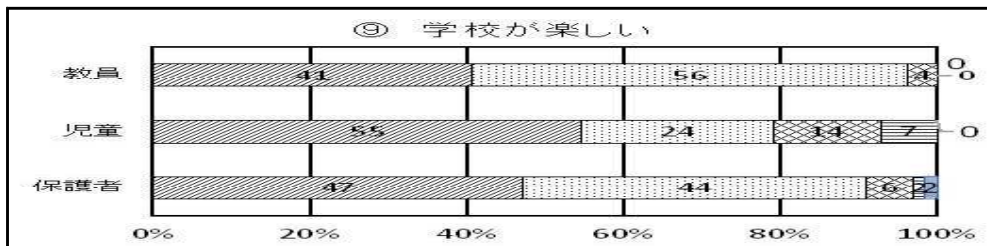
| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|---|---|--|
| 教員は、家庭との連携を深めようとする意識が高まっています。保護者も8割以上が肯定的に捉えています。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長は家庭が基盤となるので、学校と家庭の連携は大切である。 | → 今後も、連絡帳・学年だより・学校だより・ホームページを通して、学校の様子について常に情報発信を心がけていきます。 |



| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|---|--|---|
| 保護者の「わからない」という回答が多く、日頃の授業について保護者に伝わっていない結果となりました。 | <ul style="list-style-type: none"> 「どうして」という疑問をもたせることが大切。 自分で解けたという自信や達成感が大切である。 | → 授業づくりはもちろん、公開日などで、授業をよく見ていただき、たよりなどで紹介していきます。 |



| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|--|--|---|
| 教員にはこれで十分という意識が低いようです。保護者は、「わからない」の回答が多く、情報モラルについてあまり理解されていない方が多いようです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用するための技術だけでなく、潜んでいる危険性を教えることも大切である。 ・教えるために、まず大人が十分理解していなければならない。 | → 情報社会において大切な教育です。学習内容の充実を図るために、教員の研修が第一です。また、保護者へのPRも進めます。 |



| 分析 | 学校関係者評価 | 改善の方策 |
|--|--|--|
| 各学級で、児童の自己存在感を高めるための工夫をして学級づくりを進めてきました。約20%の児童が否定的な評価をしていることが気になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの子どもたちが、学校が楽しい場と考えていてよいが、楽しくないと言っている7%の児童が心配である。 ・学校へ行っているいろいろな経験することが大切である。 | → どの児童にとっても居心地のよい学校・学級づくりを行っていきます。そのためには、あたたかい学級経営を行い、児童がお互いに仲間づくりができる雰囲気を作っていきます。 |

【保護者文章回答】

多くの保護者からご意見をいただき、ありがとうございました。今後の教育活動の参考にさせていただきます。以下に主なご意見を紹介します。

(○：肯定的ご意見 □：希望のご意見 ●：ご批判)

- 校長先生が直接目を見たことをお便りにしてくれるので、様子がよくわかります。どんな話をして下さっているのかもよくわかり有難いです。
- 勉強のみならず、なわとび等を加えて運動を通じて体力を強化することにも力を入れていること感謝しています。
- 学習以外で、特に思いやりの心を育てる活動は続けてほしいです。たてわりの話をしているときの子どもの楽しそうな顔が印象的でした。
- すこやかカードの存在はすごく、自分からは早寝をするように心がけているようです。
- 障がい児や福祉活動への興味を持てるような活動を望みます。
- 長期の休みの時の宿題プリントを増やしてほしいです。
- 思いやりの心を育てる教育を充実させてほしい。
- 言葉の使い方を学べる機会があるといいなと思います。
- 朝の分団で集まるとき、あいさつがほとんどなく不足していると感じる。近所の大人として、自分の子どもにも気持ちよいあいさつを指導していきたい。
- 保護者と先生が話をする機会がほとんどなく、個人懇談会も時間が短いため、学校に対して不安がある。
- 友達とのかかわり方について、個人的にもっと指導していただきたい。
- 小学校と中学校の行事が同じ日に重ならないように配慮してほしい。